

高千穂化学 故江上正会長「偲ぶ会」

高千穂化学工業は18日、今年4月に死去した故・江上正代表取締役会長の「偲ぶ会」を東京・六本木の国際文化会館で開いた。産業ガス業界や学术界などから生前に親交のあった関係者ら約110人が参列し、故人の冥福を祈った。

この日は「江上正を偲ぶ会」受け継がれる特殊ガスの魂の絆」と題して開催。江上会長の母校である東京工業大学発のベンチャー企業の記念講演や、日本の特殊ガス開発の先駆けとなり、研究・普及に尽力した江上会長の業績を振り返る映像資料などの上映が行われた。追悼の辞に立った東工大の半那純一名誉教授は「産業界の停滞と出口を求める暗中模索のなかで改めて認識すべきは、絶えることなく会長の心に宿っていた独自技術を基盤とした企業精神であるだろう」と話した。



その後、江上かほる常務取締役と江上三紀取締役、江上真紀社長がそれぞれ謝辞を述べた。真紀社長は「父が長生きできたのは、皆様がいろいろな期待を寄せくださったからだと思います。まだまだ発明・考案をしてほしい、教えてほしいといった期待が生きる原動力となっただけではないかと思えます」と語った。